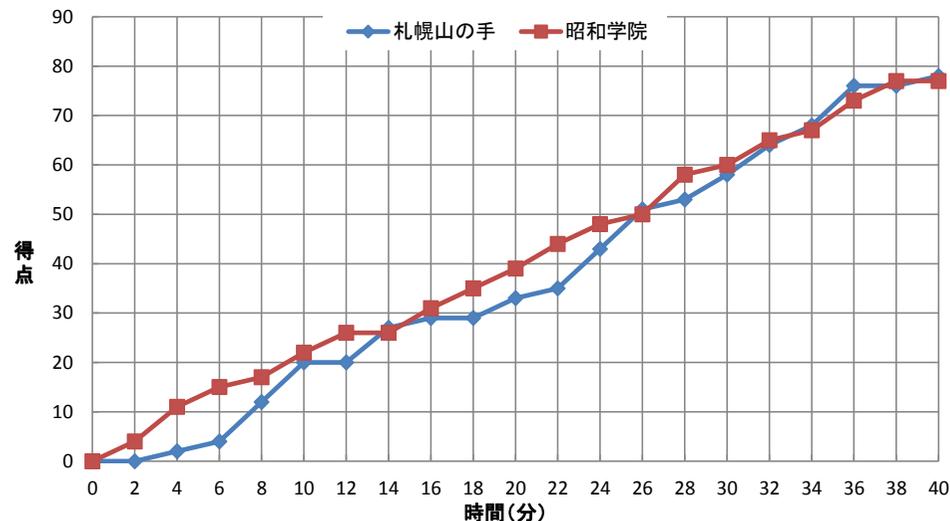


平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

女子		平成28年8月2日		13:20 開始													
3回戦		広島サンブラザ		C													
◎ 札幌山の手 (北海道)		78		77 昭和学院 (千葉県)													
		<table border="1"> <tr><td>20</td><td>1st</td><td>22</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>17</td></tr> <tr><td>25</td><td>3rd</td><td>21</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>17</td></tr> </table>		20	1st	22	13	2nd	17	25	3rd	21	20	4th	17		
20	1st	22															
13	2nd	17															
25	3rd	21															
20	4th	17															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	栗林 未和	12	0	5	2	1	4	片野 星	-	-	-	-	-				
* 5	田中 未来	5	1	1	0	0	5	大塩 菜々子	-	-	-	-	-				
* 6	池田 玲奈	18	6	0	0	1	* 6	佐古 愛	26	4	7	0	2				
* 7	河村 美侑	11	1	3	2	3	* 7	宗形 真李	8	0	4	0	2				
8	太田 雛子	-	-	-	-	-	* 8	赤穂 ひまわり	18	2	6	0	2				
9	大島 ちさと	-	-	-	-	-	9	山本 美空	0	0	0	0	0				
10	黒沼 咲百	2	0	1	0	1	10	齋藤 絢	4	0	1	2	1				
11	遠山 佳奈	6	0	2	2	1	* 11	星 杏璃	12	0	6	0	3				
12	畠山 愛花	2	0	1	0	0	* 12	山下 詩織	9	0	4	1	2				
13	松永 夏海	-	-	-	-	-	13	平野 尚	-	-	-	-	-				
* 14	東藤 なな子	22	0	9	4	2	14	大竹 優香子	-	-	-	-	-				
15	田村 春菜	0	0	0	0	1	15	関 千尋	-	-	-	-	-				
コーチ	神田 英基					0	コーチ	鈴木 親光					0				
Aコーチ	上島 正光						Aコーチ	日下部 知恵									
合計		78	8	22	10	10	合計		77	6	28	3	12				
主審: 前田 喜庸																	
副審: 仲地祥吾																	

得点経過



CTO	1・2P	3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	2:32	:	26:39	36:30	39:58	:	:	:
TeamB	13:15	:	31:16	35:05	39:39	:	:	:

〔戦評〕

北海道代表札幌山の手高校と千葉県代表昭和学院高校の大会ベスト8をかけた3回戦。
第1P、両チームハーフコートマンツースタイルでゲーム開始。序盤、昭和学院#8のタップシュート、#7のバスケットカウントなど多彩なオフェンスにより、札幌山の手は苦戦を強いられ2対8になったところでタイムアウトを請求。残り3分から札幌山の手#6の3連続3Pなどで徐々にリズムを取り返し、終了間際、札幌山の手#7の3Pシュートが決まり20対22昭和学院リードで第1P終了。
第2P、昭和学院は#6のバスケットカウント、#8のドライブイン、札幌山の手は#6の3Pで加点をしていき、互いに譲らぬ攻防を繰り返す。オフェンスリバウンドをものにする昭和学院が徐々にリズムを掴みかけるも、札幌山の手がタフショットを決め何とか食らいつく。33対39昭和学院リードで前半を折り返す。
第3P、昭和学院がオフェンスリバウンドからセカンドチャンスでゲームを有利に進めていくが、札幌山の手は#6、#5の連続3Pで逆転に成功。しかしその直後、昭和学院は連続スティールから得点を重ね、すぐさま再逆転。すかさず札幌山の手タイムアウトを請求。その後も一進一退の攻防を繰り返す。58対60昭和学院リードで最終第4Pへ。
第4P、札幌山の手はオフェンスリバウンド、ルーズボールからチャンスをものにし#14がタフショットを決め、逆転をしたところで昭和学院タイムアウト。タイムアウト直後に山の手はスティールから得点し、一気に流れを掴もうとするも昭和学院も#6の3Pなどで粘り、札幌山の手が1点差に詰め寄せられたところでタイムアウトを請求。そこから昭和学院が逆転をするも残り1分に#14のオフェンスリバウンドからバスケットカウントを取り再逆転。残り21秒1点差の場面で、昭和学院は#7が果敢に3Pを打ったところで、ファウルをもらいフリースローを3本獲得するもすべて外してしまう。そのリバウンドを札幌山の手が確実にものにし、ゲーム終了。78対77の大接戦を札幌山の手が制し、準々決勝に駒を進めた。

戦評: 松田 武志

記録: 海田高校